



「表明」を11月12日からのAPECの場で
とする国会決議の実現に関する呼び掛け

賛同合計人数 232人

賛同人数 (96人)

賛同人数 (98人)

衆議院予算委員会でTPP問題を質問する田中康夫氏 (2011年11月11日-共同通信)

遺伝子組換作物は一度導入すれば 永遠に使い続けることになる

問題だと矮小化している人たちがいます。日本の農業に大きな問題があることは誰もが知っていることです。JAに象徴される日本の農業を変えなければならぬのは当たり前のことです。でもそれをTPPという外圧によってしか変えられないと言っている人たちは、日本が独立国家であるというのを自ら放棄しているのです。独立国家ならば農業を自律的に変えなくてはいいけない。

枯葉剤でベトナム戦争に「貢献」し、遺伝子組換作物市場の9割を占有している米国モンサント社と、一昨年に長期協力関係を結んだのが住友化学。その会長を務めている米倉弘昌氏が日本経団連の会長です。枯葉剤よりも恐ろしい遺伝子組換作物を一度導入すれば、遺伝子組換作物の種子を永遠に買い続けなければ農業ができない。アメリカが日本の農業までも牛耳ることになるわけです。

緊急インタビュー

田中康夫(衆議院議員)が吠える!

「開国」にだまされるな TPPは国を壊す「壊国」だ!

取材・文/桃井四六

昨年11月、国会に提出された「TPP参加表明に反対する決議案」の呼びかけ人である田中康夫氏。彼にTPPの危険性について聞いた。TPPは日本を破壊する「T(トータル)・P(ポイズン)・P(プログラム)」(完全毒殺構想)であると警告を発する。

—TPP問題を国会で取り上げ、衆議院議員の署名を集め、メディアや街頭で反対の論陣を張っています。まずその主張をお聞かせください。

田中 そもそも日本は貿易立国だと言ってきたのですから、すでに開国をしています。開国の至らない点があるなら「改国」すべきですが、今回「バスに乗り遅れるな」と言っているTPPは、日本人々の仕事や生活を奪う、壊す「壊国」なのです。TPPは自由貿易ではなくて、むしろアメリカ主導のブロック経済、アメリカ一人勝ちの保護貿易だということ。にもかかわらずそれを理解していない人たちがいる。

アメリカは日本の 農業を牛耳る

どこを理解していないかということ。とをまず話します。TPPは農業の

中国は日本、ナッシングで アメリカと手を結ぶかもしれない

**松下政経塾と連合の民主党は
実体経済が分からない**

多くの人がTPPに疑問を持って
いるのは、その人たちには偏差値教
育の頭でかちとは違う「地頭」が
あるからです。日本の物作り産業の
力強さは、まっとうに働き学び暮ら
している人たちが町の物作りの人、
本来の農業者や本来の商人、サラリ
ーマンには「地頭」があったからで
す。

松下政経塾に代表される人たちは
偏差値坊やであって、実体経済が分
かっていません。
もっと言えば連合に象徴される労

働貴族、今や労働者の5人に1人も
入っていないのに労働者の代表の振
りをしていく組合の幹部も、破綻し
た計画経済のノーメンクラトゥーラ
(社会主義国の高級官僚)のような
ものです。

ケーススタディー通りに物事が進
むなら、松下政経塾の人たちは、M
BAの資格を取って全員が億万長者
になっているはずでしょ。でも違う。
ともに机上の空論の政経塾の人と組
合の人が合体した民主党が、実体経
済を分からないままアメリカが言う
TPPをそのまま受け容れていると
いうことです。
TPPはなぜ出てきたのか。

貿易黒字国の日本の輸出は 増大させないと言ったオバマ

そもそも自由貿易のためにWTO
という多国間協議がある。でも、多
国間では取捨がつかないので2国間
でFTAやEPAをやるようになって
きた。
日本はそれをずっとサボってきた
のに、アメリカが突如言い出したら
TPPに入ろうとしている。
FTAというジョギングすらサボ
っていた人が突如フルマラソンのT
PPに出るんだから心臓マヒを起こ
すに決まっている。私はTPPを
「トータル・ポイズン・プログラム」
—完全毒殺構想—だと申し上げてい
ます。

一昨年の横浜APECのとき、バ
ラク・オバマ氏が何と言ったのか。
アメリカは今後10年間で輸出を倍増
させる、輸出が10億ドル増えるたび

アジアの主な国の総輸出入量 単位100万米ドル 2009年

	輸出	輸入
日本	580,719	550,550
韓国	361,614	322,843
中国	1,201,790	1,004,170
タイ	152,065	134,832
フィリピン	38,308	45,743
ベトナム	57,096	69,949
マレーシア	157,484	123,693
シンガポール	269,832	245,785
台湾	203,635	174,371

『世界の統計2011』、『台湾財政部統計処』より

に雇用が5000人増えると言って
いる。そして、貿易黒字国はTPP
に入ったからといって輸出が増大す
ると思ふな、むしろ内需拡大をす
べきであると言ったんです。
貿易黒字国がどこを指すかと言え
ば、日本です。日本は輸出が増える
と思ふな、と言っている。にもかか
わらず日本の輸出が増えると思つて
いる人たちは、文章読解能力が幼稚
園児以下のレベルの人たちだとい
うことです。

グーグルに訴えられるTPPに 中国が入るわけがない

日本がTPPに入ることによって、
中国をTPPに巻き込むなどと夢想
を言っている人たちがいますが、極
めて非現実的です。なぜならTPP
という「トータル・ポイズン・プロ
グラム」にはISDというインチキ
な訴訟で相手国に大打撃を与えると

アメリカ企業は事業が失敗すれば、日本の制度のせいにする

いう条項があるからです。

仮に中国がTPPに入ったら、グループが「俺の商売が中国でうまくいかないのは中国の制度が悪い」と言い出して膨大な額の損害賠償請求訴訟を起こすに決まっています。中国のような、まだ民主主義が発展途上である国がISD条項のあるTPPに入るといふ選択肢はあり得ません。

電波もオークションになり、再販価格制度も非関税障壁に

日中間の貿易量を100とすると、中国の対ASEAN貿易も100、対米が220、対EUが260です。

ビ局の免許にもルパート・マードックのような人間が入ってきて、テレビ局の経営者が毎年代わるというこ

中国が採る選択は何かと言えば、TPPではなく、日本パッシングならぬ日本ナッシングでTPPに入らずにアメリカと共闘するかもしれない。あるいはEUとFTAやEPAを結ぶかもしれない。するとどういふことが起きるか。中国の自動車産業市場では日本とドイツが争っています。中国がEUとFTAを結んで関税を撤廃すれば、ドイツから入ってくる素材や部品が日本からのものよりも安価になる。日本はドイツに完敗するということです。

それはすなわち日本の部品メーカー、素材産業などが壊滅していくということ。だからTPPは農業、医

療の問題以上に製造業の問題だということ。小国4国で始めようとしたTPPに母屋を乗っ取るかたちで入ってきたアメリカは羊の皮を被った狼。日本という聞き分けの良いスネ夫やのび太のような国を恫喝しているジャイアンだつてことでしょ。TPPに入らなければと言っている自称保守の政治家、役人、人間はまさに売国奴だし、アメリカに尻尾を振っているスネ夫です。

世界中のどの国もアメリカなしでいけるわけにはいかないから、アメリカとパートナーシップを結ぶ必要はあります。しかしTPPで今行われようとしていることは従米、屈米、属米でしかない。

新聞社もテレビ局もTPPが必要だと言っているけど、TPPが発効すれば電波もオークションで毎回売り買いされるようになります。テレ

いつまでもアメリカにものを言えない日本

声がかいのはアメリカだから、アメリカの気にくわないものは全部非関税障壁だと言える、ということになります。非関税障壁を撤廃したとしても、アメリカ企業の努力が足りなくて失敗したら、日本で受け容れられないのは日本の制度のせいだと言いがかりをつけて訴え、アメリカがお金をいっぱい取れるというの



田中康夫 (たなか・やすお)

1956年東京生まれ。新党日本代表、衆議院議員。一橋大学法学部卒。大学在学中に書いた『なんとなく、クリスタル』(新潮文庫)で文藝賞受賞。1995年、阪神・淡路大震災後、神戸でボランティア活動に従事。神戸空港建設の是非を問う住民投票運動のリーダーとして活躍。2000年、長野県知事に就任。2005年「新党日本」を立ち上げ代表となる。2009年8月、兵庫8区(尼崎市)より衆議院議員に当選。著書に『神戸震災日記』(新潮文庫)、『日本を』(講談社)等多数。

途中で「撤退もあり得る」など お子ちやまの考え

がISD条項です。カナダやメキシコは懲りているから、TPPを検討するとは言っているけれど入るとは言明していない。理由はそこにあるわけです。

TPPに参加してアジアの市場を取り込むと政府が言っているけど、中国も韓国も台湾もインドネシアもフィリピンもタイも入っていない。参加しているのは、それらよりもはるかに貿易量が少ない国でしょう。

TPPを「環太平洋戦略的パートナーシップ」と訳していますけど、英語ではtrans-pacific partnershipです。transというのは、「相互」という意味です。行つて来い、なん

ですよ。

どうしてAPECはAsia-pacificかというpan-pacific、環太平洋だからです。TPPの翻訳は外務省と経済産業省の意図的な誤訳でしかないということです。

ですから本来に日本の産業を育成するならば、本来、アメリカとFTA交渉をすべきなんです。

FTAを結んだら韓国のように屈辱的なたちになる可能性は大ですが、日本がアメリカに対してきちんとものを言えないなら、上から目線の傍若無人な父親から永遠に独り立ちできない、成人できない子供だということですよ。

共産党も公明党も一緒に 決議案の呼び掛け人になった

— それでは、いくつか聞きます。

田中さんは昨年11月に国会に出された「TPP参加表明に反対する決議案」の10人の呼び掛け人の1人ですが、最初に呼び掛けたのは田中さんですか。

田中 僕です。僕と自民党の小野寺五典と稲田朋美、城内実（国益と国民を守る会）で、僕が阿部知子（社民党）にも声を掛けた。民主党は「新党きづな」に行つた斎藤やすの呼びかけ人を出しましょう」と言つて下さって、国民新党の下地幹郎も入つて10人になったんです。

南京事件では正反対の意見の稲田朋美と阿部知子が並んでいるのもすごいことだけど、共産党と公明党と一緒に呼びかけ人を出して署名を集

めたんです。

前代未聞です。実質、2日半で過半数に肉薄する232名の直筆署名を集めたんですよ。自民党と公明党が文案を作つて議長に出したんだけど、民主党が議運（議院運営委員会）で否決したんです。

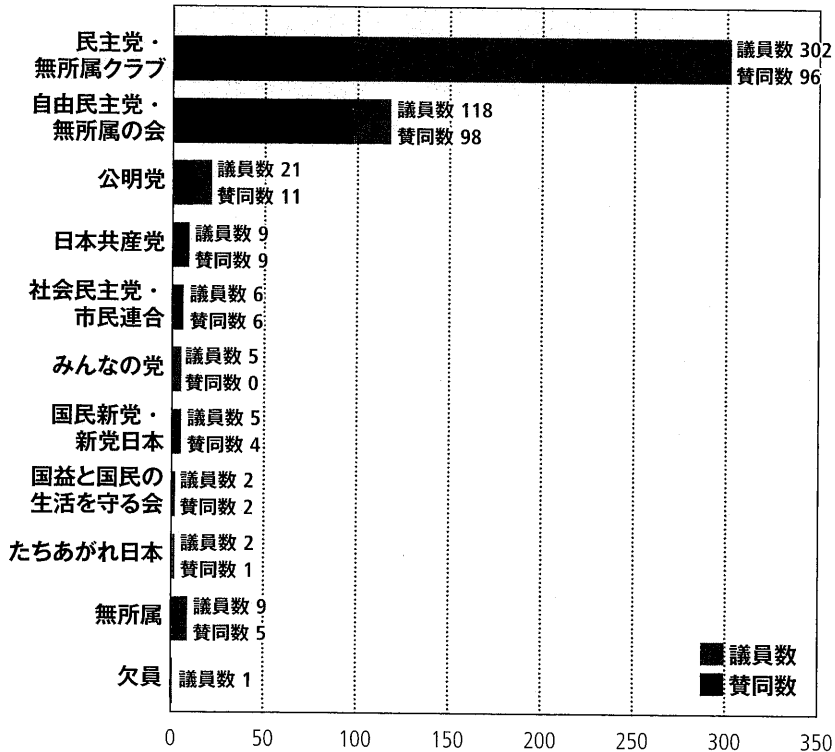
造反者が出るのが怖くて 国会に上程しなかった民主党

辛うじて過半数に達しなかったのですから（衆議院過半数は241）、TPPに自信があるんだつたら、正々堂々、憲政の常道で本会議に上程して否決をすればよかつたじゃないですか。

不安だから、菅内閣不信任のときと同じく造反が出ると思つたから、上程させなかつたわけですよ。

私たちが提出したのは「TPP参加に反対」じゃなくて、「TPP交渉協議への参加表明に反対する」と

田中議員提出の決議案に衆議院議員会派別賛同者数





「日本にとって有利でなければ撤退もあり得る」と言うけど、結納を破棄するかもしれないけど、結婚式の段取りはしましよ、なんて言うKYな男がどこにいますか。そんなことが世界で認められるのか。まったくお子ちゃまだっていうことです。

次の選挙で民主党が負ければ国会で批准できない!

——今後も国会の内外での反対活動を考えているんでしょうか。

田中 232名が署名したというこ

いう文案だったんです。しかも野田首相は「TPP参加協議に参加する」と言った。しかし、日本語のようにあいまいな言葉と違って英字新聞や仏字新聞からすれば、これは「TPPに参加する」になります。

とは大きなことです。次の選挙で民主党は大勝ちほしくないにせよ、基本的には反対なんだから。だって自民党と無所属の会、衆議院議員118人のうち98人が署名したんです。首相経験者以外はほとんど署名しているようなもの。

民主党の96人は親小沢、反小沢は関係ないです。鳩山さんも小沢さんも実は署名していませんよ。あえて署名して頂かないというのも、政局ではなく政策の戦いとして大事なことです。いずれにしても次の選挙で民主党は数が減りますから、国会で批准ができないということもあるわけです。ブラフなんかじゃなく、抑止力です。

PPに参加しようとしている理由だという見方もありますが。

田中 それはトレードオフの関係じゃないでしょう。今、アメリカの本来の親日的な議員が何を悩んでいるかといえば、最良の引き出し、有難迷惑なことがTPP、普天間問題で続いていることです。そのことで嫌米、反米感情が高まったらアメリカにとってもよろしくないと思われは心配しているのです。

TPPは国民の生活に直結する問題です

——アメリカの歴史学者ジョン・ダワーがTPPは日米安保以上に従属

的であるし、日本の姿を変えるだろう、日本は参加すべきではない、と言っています。

田中 名著『敗北を抱きしめて』で知られる親日派のジョン・ダワーのような人からすれば当然の意見でしょう。

——TPPは、国民運動の対象だとも思えるんですが。

田中 国会を学生が取り囲んだ60年代の安保闘争はイデオロギーの問題だったわけです。自分の商売や生活とは少し遠い話だった。今回、なぜTPPをおかしいと思っている人が多いかというと、自分の仕事と生活

に直結する問題だからです。

JAであったり医師会であったり、メディアは既得権者がTPPに反対しているんだと言っている。けれども私が代表質問で述べたように野口悠紀雄であったり榊原英資、中谷巖あるいは浜矩子であったり、自由貿易を信奉している人がなぜTPPは愚の骨頂だと言っているのか。それは日本の製造業に甚大な悪影響を与えるからです。

若者も主婦も皆、「日本を壊すな」「私たちの仕事と生活を奪うな、壊すな」と叫んでいる。これはイデオロギーを超えたムーブメントが起きているということ。ですから有楽町イトシアの前で私が中野剛志さんと演説すると、日の丸を持った人と減農薬無農薬の生活クラブの人たちが同じところで拍手をして、「そうだ、日本を壊すな」と言うわけです。

TPPは農業や医療だけでなく製造業に甚大な悪影響を与える

参考資料

田中康夫議員が中心となった、「TPP交渉協議への参加表明」をAPECの場で日本政府は行うべきでないとする国会決議の実現に関する呼び掛け

への衆議院議員賛同者一覧(232人)

●衆議院 民主党・無所属クラブ 賛同人数(96人)

Table listing 96 members of the Democratic Party and Independent Clubs in the House of Representatives, including names and constituencies.

●衆議院 自由民主党・無所属の会 賛同人数(98人)

Table listing 98 members of the Liberal Democratic Party and Independent Party in the House of Representatives, including names and constituencies.

●衆議院 公明党 賛同人数(11人)

Table listing 11 members of the Komei Party in the House of Representatives, including names and constituencies.

●衆議院 日本共産党 賛同人数(9人)

Table listing 9 members of the Japanese Communist Party in the House of Representatives, including names and constituencies.

●衆議院 社会民主党・市民連合 賛同人数(6人)

Table listing 6 members of the Social Democratic Party and Citizens' Alliance in the House of Representatives, including names and constituencies.

●衆議院 国民新党・新党日本人 賛同人数(4人)

Table listing 4 members of the National Renewal Party and New Party Nippon in the House of Representatives, including names and constituencies.

●衆議院 国益と国民の生活を守る会 賛同人数(2人)

Table listing 2 members of the House of Representatives, including names and constituencies.

●衆議院 たちあがれ日本 賛同人数(1人)

Table listing 1 member of the Party for People in the House of Representatives, including name and constituency.

●衆議院 無所属 賛同人数(5人)

Table listing 5 independent members in the House of Representatives, including names and constituencies.

衆議院議員不賛同者一覧

●衆議院 民主党・無所属クラブ・国民新党 不賛同人数(209人)

Large table listing 209 members of the Democratic Party, Independent Clubs, and National Renewal Party who do not support the TPP agreement, including names and constituencies.

●衆議院 みんなの党 不賛同人数(5人)

Table listing 5 members of the Party of Hope who do not support the TPP agreement, including names and constituencies.

●たちあがれ・無所属 不賛同人数(3人)

Table listing 3 members of the Party for People and independent members who do not support the TPP agreement, including names and constituencies.

※なお、不賛同者がすべてTPP参加に賛成しているわけではない。